

岡山県青年会会報

岡山県青年会学生幹事長挨拶
学生幹事長 前島 亮



岡山県青年会は、東京に住む岡山県出身の大学生を対象とする通常会員と、ご支援くださる特別会員の皆さんにより構成されています。運営に付きましては、都内に設置されている同県出身者のための4つの学生寮、育英会東京寮、精義塾、備中館、鶴山館の学生が中心となっています。これらは全て学生自身が主体となって寮を運営している学生自治寮で、学生が話し合っって自分たちの規則や行事を作り、より良き寮になるよう議論し、行動しています。各寮の学生は、野球大会・フットサル大会・青年会総会・岡山県人会等の機会を通じてつながりを持ち、互

いの存在を励みに高め合っておりま

す。また、青年会を通じ、県ゆかりの各界でご活躍の方々と、世代を超えた交流をすることで、多くのことを学ばせて頂いております。この貴重な経験も郷土の先輩方のこれまでのたゆまぬ努力のおかげであり、学生一同感謝しております。

ただ現状として、通常会員の大半は4寮在籍者であり、寮以外の一般学生は数多くありません。これは貴重な経験を積む機会を逃している一般学生にしても、切磋琢磨できる優秀な仲間を失っている学生寮在籍者にしても、望ましい状況とは言えません。通常会員の輪を広げることが1つの大きな使命だと考えています。

このような状況を踏まえ、一般学生から学生幹事を募ることを当面の目標とします。寮外の視点を取り入れることで、一般学生の参加しやすい環境が造られ、結果会員の増加に繋がると思われるからです。

以上、岡山県青年会へのつのる思案を述べさせて頂きました。今後とも支えて頂いている諸先輩の皆さま

発行者 岡山県青年会
編集 公益財団法人備中館



岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

新入生と卒業生の状況

平成29年3月には、青年会から22人の学生が社会へ巣立って行きました。一人ひとりが、青年会活動を通し学んだことを活かして、更なる成長を遂げることを祈っています。

4月には、新入生が加わり、10月現在、青年会通常会員（学生）は108人となっています。

異なる価値観を持った学生達が相互の理解を深め、様々な困難や喜びを体験することができるようにも青年会ならではの場として活用されることを期待します。

■平成28年度 卒業生の状況■

	首都圏	岡山県	その他の地域	計
岡山県育英会東京寮	4人	3人	2人	9人
鶴山館	4人	1人	—	5人
精義塾	4人	—	—	4人
備中館	4人	—	—	4人
寮生以外	—	—	—	—
合計	16人	4人	2人	22人

■平成29年度 会員の状況（平成29年10月1日現在）■

	1年	2年	3年	4年	大学院	計
岡山県育英会東京寮	6人	7人	10人	12人	2人	37人
鶴山館	10人	9人	11人	5人	—	35人
精義塾	4人	5人	3人	6人	—	18人
備中館	4人	3人	4人	2人	—	13人
寮生以外	1人	1人	3人	—	—	5人
合計	25人	25人	31人	25人	2人	108人



平成28年度 岡山県青年会総会

平成28年11月30日(水)の夕刻、岡山県と鳥取県の共同アンテナシヨップ「とっとり・おかやま新橋館」(港区新橋)において、各界で御活躍される郷土岡山県出身の諸先輩方にも多数お集まりいただき、岡山県青年会総会を開催しました。

総会は守分副会長(株)岡村製作所(監査役)の挨拶で始まり、大向正倫学生幹事長の挨拶、出席者の紹介、総会議事(事業報告、会計報告など)を行い、全ての議事が承認されました。

引き続き行われた講演会では、「司法改革と法曹界」という題で、東京弁護士会会長の小林元治氏(旧加茂町出身)から、御講演をいただきました。

「裁判期間の長さや弁護士費用の高さ、行政よりのスタンスなどの要因により、従前の司法が国民に十分な司法サービスを提供できていなかったことから司法制度改革が約20年ほど前から始まった。」と、広汎な司法制度改革に中心的な立場で関わられたご経験から、裁判制度、国民への司法サービス提供、法曹養成制度などこれまでの成果や今後の課題について具体的にお話しいただきました。

また、「岡山は、総理大臣の犬養毅をはじめ多士済々を排出した地。郷土岡山

を愛し、常に自分の故郷は岡山であると心に留め、精一杯尽力することがひいては日本のため、世界のためになるのだという大きな志と大義を持ってこれからの人生を歩んでいただきたい。」と、学生に対してエールを送られました。

講演後、学生を代表して、大向学生幹事長が、「司法制度改革の背景や経緯がよく理解できた。今日参加している学生にとっては、今後も続く司法制度改革を自分のこととして考えられるようになったのではないかと思う。」と、感想を語るとともに、「故郷を離れた東京で、私たち後輩のために、足を運びこれまでの経験を語ってくださいる先輩がいることを大変心強く感じている。我々が新しい道を切り開くため、積極的に先人達の歩みを辿り、教訓を得ていきたい。」と力強く抱負を述べました。

その後、行われた懇親会では、阪谷綾子副会長(公財)備中館理事長)の挨拶の後、榎原雅治理事(東京大学教授)の発声で乾杯を行い、食事を挟みながら、先輩方や同輩達と歓談の輪を広げ、親睦や交流を深めました。最後に隅田憲平副会長(NPO法人東京シティガイドクラブ理事長)による中締めをもって、盛況のうちに総会は終了しました。



東京弁護士会会長 小林元治氏による講演会



守分副会長挨拶



懇親会の様子



総会の様子

近況報告 岡山県育英会東京寮

岡山県育英会東京寮の近況報告をさせていただきます。我が寮では今年度6名の新入生を迎え、38名で活動しています。

6月には毎年恒例の山手線一周が行われました。今年は新たにTシャツをデザインし、皆で着用して走ることで一体感を得ることが出来、例年にもまして先輩・後輩の仲も深まりました。体力的には厳しい行事ですが、良いものとなりました。私は、今回で3回目になりましたが、実施の是非から議論し、Tシャツを作り、多くの寮生の参加を呼びかけ、実行した今年は例年にも増して価値ある行事であったのではないかと感じました。

また、今年度は8月に風呂場の改修工事が入り、9月から7台あるシャワーが全て使えるようになり、内装も清潔になり、長年の懸念であった風呂場の問題も解決しつつあります。その分、8月は全員が15分交代で1台のシャワーをシェアしながら使うというなかなか大変な状態でしたが、これも寮生間の協調性があればこそうまくいったことだと思っています。昨年から東京寮は執行代が3年生にな

り、各々の多様性を重んじながら今の時

代に合わせた形でより良い寮運営を執行っています。寮自体は都内4寮の中でも非常に年季が入った味のある建物ですが、内側は新しい風が吹き、各々が東京に出てきて夢をかなえるために高めあえるコミュニティになっています。今後も大学生のこの時期に高輪の地で暮らせることに感謝しながらより良い寮を作り、伝えていきたいと思っています。



3年生 天野風吾

近況報告 鶴山館

岡山から東京に来てはや6か月。生まれてこのかた岡山を離れたことのなかった私は、東京での新生活を鶴山館でスタートさせた。当初、私は東京での新生活に不安を感じていた。果たして自分が一人でやっていけるのだろうか。しかし、幸い鶴山館の寮生に恵まれ、非常に有意義な生活を送っている。

鶴山館の寮生は、規律正しい生活を送ることを求められる。鶴山館自治会規約や、毎月の例会で定められたルールに基づいて、他の寮生に配慮しながら生活する。私はこの雰囲気、寮生活を気持ちのよいものにしていくと思う。もし寮に規律がない状態だとしたら、寮生が自分勝手な生活をしてしまい寮が荒れてしまうが、鶴山館では決してそんなことはない。だから、私は安心して鶴山館で生活することができている。

これからの大学4年間、私は様々な人と出会い、いろいろなことを経験すると思う。そんな私の拠点として鶴山館を捉え、私は鶴山館での4年間を楽しみたいと思う。

1年生 大森友暁



近況報告 精義塾

どうもこんにちは精義塾二年の京野です。僭越ながら私京野が精義塾を代表して皆様にご紹介させていただきます。

私たち精義塾は1893年に創立し現在まで文京区の茗荷谷という一等地に定員20名の寮を持ち、皆で親密な交流を通じ切磋琢磨しております。

精義塾では、岡山4県人寮の中でもより多くの行事を行っています。今回は私たち精義塾が行っている行事についてご紹介させていただきます。

最初はやはり新入生歓迎会です。新たに新生活を始める一年生をみんなで盛大にお祝いしようという行事です。

次に草刈りという行事があります。年に2回寮のグラウンドや裏庭に生えた大量の草をただ必死に抜きまくっています。

次に総会、大阪帰省会、岡山帰省会があります。これは精義塾をご卒業された先輩方を対象に行っており、新たな新入生や在塾員の近況報告などを行っています。先ほどの草刈りもこの会のために行っている行事です。

次に七夕パーティー、クリスマスパーティーがあります。これは言葉の通りパーティーです。昔は社交ダンスなどを踊ったりするパーティーだったらしいんですが、今ではなかなか難しいものがありますね。

次に夏旅行、冬旅行があります。今年は大島そして奥多摩の方へ在塾員全員で遊びに行きました。

私たち精義塾は、身内だけの関わりではなく地域の方々とも密接な交流を行うっており、地域の方を集めBBQをしたりしています。そして岡山4寮だけで無く近くにある、岐

阜県人寮、愛知県人寮、奈良県人寮、広島県人寮、愛媛県人寮と密な連絡を取り合い交流しています。

本当に簡単な紹介になってしまい申し訳ございません。これからもどうぞ精義塾をよろしくお願い致します。

2年生 京野啄守



近況報告 備中館

今年で卒業生が5名も卒館され少し寂しい館内ががらんとしていた中、3名の新しい入寮生が来てくれて少し館内が温かくなりました。自分たちの代では5人中3人が退寮してしまい現在は2人しか同学年がいないう状況です。ですが私たちの次の代が奇跡的に浪人生という事もあり同い年の後輩が3人も増えました。自分たちとその3人の後輩たちの関係は上手くバランスが取れていて少しの上下関係と同い年だから話せることもあり、一言でいうと良い関係になりました。

最初は同い年の後輩という事もあってどのように教育していけばよいか後輩はどのように自分たちと接するべきなのかお互いにぎくしゃくした期間がありました。それでもお酒の力も借りながら、月1回ある総会などで交流を深めていきました。

いまの1年生に関しては一人ひとりしっかり個性があり面白い可愛い後輩です。飲み会の場で色々なことも分かってくれから楽しい賑やかな活気のある寮になると思いました。

心配事と言えば食事のことで今、備中

館にはご飯を作って下さる方が不在のためワタミの宅食を利用しています。そのご飯の内容や量など少し寂しい気持ちがある個人的にはあり、早く寮母さん、寮夫さんを雇わないと不満が溜まっていくと思うので、改善策をできるだけ早く見つけたいと思っています。

今年の備中館は食事の問題以外なんの心配もなく活気に満ち溢れている寮だと思えます。

3年生 山口 拓己



育英会東京寮の先輩から

この春、学部と大学院の計6年間仲間と過ごした育英会東京寮を卒業して岡山に戻ってきてから早くも5ヶ月近くが経ちました。この度、青年会報に寄稿するにあたり寮生活を振り返ると印象深く刻まれているのは、寮が立つ地域の町内会が毎年携わっている祭事に寮生たちと参加した思い出です。

寮近隣3つの町内会が一緒となつて9月上旬に氏社の例大祭が執り行われており、3年に一度は大神輿が氏子地域を巡幸します。大学一年目に寮の先輩から熱心に誘われ初めて例大祭に参加したのがちょうど大神輿の年でした。緊張しながらも法被と鉢巻を身にまとい地域の人々の輪に飛び込み、汗水流しながら声を上げて神輿を担いで町内を何時間にもわたって練り歩きました。その夜、町内会での打ち上げでは普段近所でも滅多にお会いすることのない幅広い年代の方々とお話して親交を深めることができました。

引越したばかりの一人暮らしでは地域行事について右も左もわからずに参加も遠慮がちになります。県人寮としてこれまで信頼と評判があることで町内会の一員として初参加でもすぐに打ち解け

られ、苦労と喜びを共有する一体感と心地よい疲労感という祭りの魅力を肌で感じる有意義な経験でした。

現役生への一助言として、是非寮の仲間を誘って地域行事に積極的に参加してみてください。寮外の多彩な人々との縁が広がってその街で暮らす安心感と愛着が生まれ第二の故郷になるのではないでしょう。

久保田真康（平成28年度卒業）

鶴山館の先輩から

皆様いかがお過ごしでしょうか。つい先日3月に卒業いたしました島村でございます。卒業してから4ヶ月を振り返ってみたいと思います。

私は4月3日に入社を終え、金融機関である証券会社に勤めることになりました。現在は、大宮支店の営業部に配属され、10歳離れたインストラクターの下で日々修行を重ねております。営業の中でも新人は新規開拓を中心に頑張っておりまして、一日何百件と電話を掛ける時もあるれば、何十件と訪問する場合もあり、特に、これから益々暑くなる季節では、精神的、肉体的にも厳しい日々になってくると思われます。そのような状況下ではありますが、最近、未上場会社を中心

に社長さまとお話しする機会が増えて参りました。お客さまの中には、良くも悪くも新人として扱って下さらず、今後の株、為替、金利など様々な質問を投げかけてきます。そういったお客さまに対して自身の相場観をしっかり説明し納得して頂けるよう、日々国内外のマーケットの動向に注視しています。

例えば、世界のトレンドとして電気

自動車（EV）が急速に普及しています。フランス、インドなどがガソリン車、ディーゼル車の販売停止を宣言しました。投資家の投資行動としては、まずテスラモーターズなどの自動車メーカーが注目されます。その後、半導体、モーター、リチウムイオン電池などの部品から半導体を製造するアプライド・マテリアルズ、東京エレクトロンなどの関連銘柄が上昇してきています。このように、目まぐるしく変化する世界経済の流れを自然と意識するようになりました。

まだ卒業してまもない私でも、充実した日々を送ることが出来ています。寮生の皆さんは、やりたいことが見つかった人、そうでない人、様々な人がいると思われまます。私が一言伝えたいことがあるとすれば、社会に出るのを楽しみにしてほしいことです。そこは、上司に怒られ、お客さまに怒鳴られ、非常に厳し

い世界が待っているかもしれません。学生寮を4年間経験された皆さんはきっと乗り越えられると思います。もちろん、今は目の前の学生生活が実りある4年間になるよう楽しんでください。

島村拓巳（平成28年度卒業）

精義塾の先輩から

精義塾のイベントで最も印象的なのが「百キロハイク」である（厳密には早稲田大学のイベントだが・・・笑）。毎年5月に行われているため、サークルの合宿とかぶってしまつて参加できていなかったが、満を持して今年度参加できた。ここで、精義塾員の「やりきる」姿勢を目の当たりにした。百キロハイクと言っても実は百二十キロくらい歩くもので、炎天下の中二日間ほとんど歩きっぱなしのこのイベントは過酷そのものである。

精義塾からは十人ほども参加した訳なのだが、見事に全員完歩した。自分自身が完歩出来たことにも感度したが、全員が成し遂げたことは感動そのもので、精義塾員の底力を実感した瞬間だった。ゴールした後のビールかけ（自分には何かトマトジュースが飛んできました。故かトマトジュースが飛んできました。が・・・）が至福の時だったのは記憶に新しい。

こんな感じで精義塾という場所に巣食う人々はなにかしらぶっ飛んでいるが面白い。魅力的な人材ばかりである。一人一人必ず何かに熱中して、夢中になっている。一人暮らしでは得ることの出来ない個性があり、その個性を互いに吸収し合う環境がある。言うなれば、「精義塾」という「人」が生きているといった感じだろうか。精義塾そのものが「個」なのだと思う。後輩たちには、是非ともこの「個を育む個体」を満喫して欲しい。何十年何百年と続いてきたこの個体の歴史を、これから先も永久に続けて欲しい。現在は塾外員という外からの立場であるが、ずっと見守り続けたい場所である。「精義塾は永久に不滅です」

川原拓也（平成28年度卒塾）

備中館の先輩から

5年間あの備中館に居て色々なことがあった。同期が辞めてしまったこと、初めて寮の幹事を任されてどのようなことをしていけばいいのか分からなかったこと、色んな不安がたくさんあった。しかし必ずそういった場面の時、私は一人ではなかった。同期の秋葉や先輩方、それに時には後輩にも助けられた。

あの備中館の中で学んだことは社会に

出たときの言葉の使い方や先輩との接し方など社会に出たときに必要なことをすべて備中館で学べた気がする。しかし私が一番強くあの備中館から学んだことは「仲間」の大切さだと思う。私が苦しい時はアドバイスをくれる先輩方、楽しい場面では一緒にあってグラグラ笑ってくれる後輩達、間違った事をしてしまったら厳しく叱ってくれる寮生が私の周りにはたくさんいてくれた。だが私は留年をしてしまった。両親にも迷惑をかけてしまい大きな間違いをしてしまった。そんな中、寮に帰って報告するとみんな気を遣う事なく笑ってくれた。後輩からも「また一年一緒に過ごせますね」とまで言われ、ものすごく嬉しかった。

そして私は、5年間育ててくれたあの備中館を卒業し、現在は一人暮らしで日々忙しい毎日だが、まだまだあの楽しい備中館を思い出す。今はまた備中館に入る頃の気持ちを思い出し、新しい気持ちで新しい環境に挑んでいる。だが常に思うことは大学生活の時、一人暮らしではなく寮という小さな社会に入ったことは間違いではなかったと思う。これから大きな壁にぶち当たるときも備中館から学んだ「仲間」を信頼し助け合い、大切にしていきたいと思っている。

春木純司（平成28年度卒館）

事務局からのお知らせ

■新規会員の募集

岡山県青年会の通常会員は、岡山県出身の学生です。男女は問いません。育英会東京寮、鶴山館、精義塾、備中館に入寮している学生以外の方も、岡山県青年会に入会いただけますので、学校や知人等で入会を希望される学生がおられましたら、事務局までご連絡ください。入会金は不要で、学生の方（通常会員）の年会費は無料です。

■特別会員の方へ維持会費（年会費）納入のお願い

学生寮を巣立っていかれた先輩方や、岡山県出身の学生を応援くださっている方に、特別会員になっていただき、岡山県青年会の運営のご支援をいただいております。特別会員の皆様には、青年会の維持会費（年会費）として一口5千円のご支援を今年もよろしくお願いいたします。

事務局連絡先

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-6-3
都道府県会館 10 階
岡山県東京事務所
岡山県青年会事務局
TEL: 03-5212-9080
FAX: 03-5212-9083
メール: seinenkai@pref.okayama.jp

学生寮の問い合わせ先

岡山県	育英会東京寮	〒108-0074 東京都港区高輪 3-14-21 TEL:03-3441-3195 【HP】 http://www.okayama-ikueikai.jimusho.jp/ryo01.htm	鶴山館
	精義塾	〒112-0006 東京都文京区小日向 1-21-13 TEL:03-3947-6565 【HP】 http://www.seigijuku.org/	備中館
		〒202-0013 東京都西東京市中町 5-10-8 TEL:0424-22-5951 【HP】 http://park19.wakwak.com/~kakuzan/	
		〒112-0001 東京都文京区白山 4-8-4 TEL:03-3947-1549 【HP】 http:// 備中館.jp/	